

紀南病院広報誌

第9号

平成19年
7月発行

つながり

病院スローガン(8月~10月)

ありがとう その一言がうれしくて

発行:紀南病院組合立紀南病院 〒519-5293 三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和4750 ☎05979-2-1333(代) renkei@kinan-hp-mie.jp(地域連携室)

丸山千枚田



就任の挨拶

事務部長 久保 治也



4月の人事異動で熊野市から派遣となりました。

病院に勤務してまず感じた事は、「病院は自ら収入を得て経営をしていく」という面が自治体と大きく違うことです。医師、看護師等多種の医療専門スタッフと事務方の努力により経営が支えられているということを実感しています。

病院経営は医師不足、報酬改定等の中で厳しい運営を強いられている昨今ですが、住民から信頼される病院作りの為に頑張る所存ですので、皆様のご指導ご協力をよろしくお願い致します。

日曜・祝日の日直(昼間)救急外来を利用される患者さまへ

紀南病院では日曜・祝日の内科系疾患の日直(昼間)救急業務を紀南医師会の先生方に依頼して行っていました。この体制は、平成19年5月末日で終了しました。

そこで、紀南医師会と協議の結果、国や県の勤める医療機能分化事業の一環として、新たな体制を組むことになりました。

紀南医師会の日曜・祝日日直は従来1箇所で行われていたため、診療所が遠隔地の場合は診療困難なこともあったことと思います。

そこで、紀南医師会の日直体制は平成19年6月以降、市街地を含む2箇所で組んでいただくことになりました。

これによりそれほど遠くない場所で、紀南医師会の救急当番診療所を受診が可能となります。

紀南病院に通院していただいている患者さまにつきましても、今後は、入院を必要としない程度の病気である風邪や発熱など一次救急患者に関しては、医師会の日曜・祝日救急当番診療所を受診していただくようお願いします。

紀南病院は診療所からの紹介や入院を必要とするような二次救急患者の診療を主体としたいと思います。

また、電話での問い合わせがあったときも救急当番診療所をご案内させていただくこともありますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

▼市街地の診療所（12箇所）

寺本クリニック、谷口クリニック、須崎医院、大久保医院、小山医院、大石産婦人科医院、協立内科外科医院、和田医院、大石医院、尾辻内科クリニック、原田医院、熊野病院

▼周辺地域の診療所（10箇所）

相野谷診療所、尾呂志診療所、熊野市立紀和診療所、熊野市立神川診療所、熊野市立五郷診療所、あすか診療所、井本医院、多田医院、熊野市立荒坂診療所、島崎整形外科医院

アレルギー性鼻炎

耳鼻咽喉科
松浦 徹



生体外から侵入する花粉やダニ・ハウスダストをアレルゲン（抗原）と呼び、生体内の抗体（生体の防御因子）がこのアレルゲンを異物侵入と認識して、鼻の粘膜で抗原・抗体反応（アレルギー反応）を引き起こしたときに見られる症状をアレルギー性鼻炎といいます。症状としては、鼻水、くしゃみ、鼻づまりを発作的に連発し、これらの症状は「アレルギー性鼻炎の3大症状」と呼ばれています。また眼に入ったアレルゲンもアレルギー反応を引き起こし、涙、眼のかゆみなどの症状を有するアレルギー性結膜炎を引き起こします。その他、頭痛、嗅覚障害を伴うこともあります。

アレルギー性鼻炎には一般的に季節に関係なく一年中起こる非季節性あるいは通年性アレルギー性鼻炎（ハウスダスト、ダニ、カビなど）、季節性アレルギー性鼻炎の二つのタイプがあり、季節型は花粉症（スギ、ヒノキ、イネ科、シラカバ、ヨモギ、ブタクサ、アワダチソウなどの花粉）が大半です。通常季節性の方が、通年型より症状が強いといわれます。花粉症は第二次大戦後、失われた森林資源回復のため北海道を除く各地にスギが植林され、成長したスギは大量の花粉をばら撒くようになったこと、さらに食べ物西洋化して、肉、卵、牛乳などのたんぱく質が多い食物を摂るようになり、人が抗体を造りやすい体になったと言われています。根本的な治療はアレルゲンの除去と回避であり、次に薬物療法で、適応により特異的免疫療法（減感作）や手術療法があります。

薬物療法では、根本より治す薬剤はまだないため、対症的にアレルギー症状を抑える薬剤の治療が中心です。薬物療法として抗ヒスタミン剤、抗アレルギー剤、ステロイド点鼻薬、抗アレルギー剤の点鼻薬、血管収縮点鼻薬などがあります。いずれにせよ、くしゃみ、鼻みず、鼻づまり等の鼻の症状があって困っている方は、勝手に自分で決めつけずに一度耳鼻咽喉科を受診することです。アレルギー性鼻炎の治療は、耳鼻咽喉科の診察を受け原因の抗原を調べることから始まると言われています。花粉症と思いこんでいても、実は副鼻腔炎や鼻茸があったと判明することもあります。また、薬局で購入した点鼻の血管収縮薬を常用することによってかえってひどい鼻閉を生じていることもあります。

平成18年度 救急研修会報告

内科 鈴木 孝明



昨年の11月の話ではありますが、熊野市消防本部主催の救急研修会で講師の依頼があり、「日々の振り返りから学ぶ救急事例」という題で話をしてきましたのでご報告します。

私の自己紹介の後、参加者同士も自己紹介し、場の雰囲気少し和らいだ様でした。場の雰囲気作りも重要です。その後「救急医療と地域医療の理想の関係」というテーマを6~7人の小グループで話し合いました。各職員がそれぞれに日々考え、悩み、学んでいく中でお互いの思い描いているものを共有する場でしたが、これがまた盛り上がりました。普段なかなか言い出せない現場での問題点を盛んに出し合い話し合っていました。参加者は救急医療と地域医療の両者の理想の関係を話し合ううちに、それぞれの理想と現在の問題点をも再認識することができ、「病院スタッフは現場のことを分かっていない」「2次医療を担う病院は100%の受け入れを目指して欲しいし、不可能でもその後速やかに対応してほしい」「急病の患者宅に往診可能な医師が先に行き、必要であれば救急車を呼ぶケースもあっていいのではないか」など普段考えていても伝えにくい話題が噴出していました。今後、よりよい地域医療を発展させていくためには「まずはお互いがお互いを理解するための話し合いの場があるといい」「お互いの事情を考える前に、患者さんのことを第一に考えてから話し合いたい」という建設的な意見も聞くことができました。

このように日々の問題を話し合い、調べながら互いに学び合って成長していける集団は、一步一步プロに近づいているのだと説明し、日々の振り返りが重要であると強調しました。また共有という意味で、後輩指導のためのちょっとした技を説明してきました(5 micro-skills)。

後輩などから質問があったときには？ すぐ説明せずに…

1. 学習者の考えを聞く
2. 考えの根拠を聞く
3. 一般論を提示する
4. 出来たことをほめる
5. 改善点を提示する

家庭や学校、職場でも使ってみてはいかがでしょうか？

一部ではありますが、研修会報告でした。

たなばたコンサート開催

7月5日、恒例のたなばたコンサートが行われました。紀南病院コーラス部の合唱、大正琴「すみれ会」の皆さんによる演奏に、患者さんたちも癒され、とても盛り上がり、楽しい夏のタベとなりました。



天理教の皆様による奉仕活動

4月29日天理教の皆様による「ひのきしん」が行われました。「ひのきしん」とは天理教の報恩感謝を意味する言葉で、具体的には信者の皆様による奉仕活動をいいます。当院には毎年1回、きなん苑には月1回、施設周辺の草刈りや、清掃をしていただいております。当日は暑い中、懸命に作業に取り組んでくださり、厚く御礼申し上げます。



受診(初診)の予約ができます

地域の医院・診療所の先生のご協力で、紀南病院初診の予約ができるようになっております。申込書（医院・診療所に配布済み）を当院地域連携室へFAXいただくことで、予約をお取りしています。患者様からの手続きはできませんが、ご希望の場合は、各医院・診療所（かかりつけ医）の先生にご相談ください。

（お問合せ先：紀南病院地域連携室）

TEL 05979-2-1333(代)

外来診療担当表

平成19年7月9日現在

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	午 前	1診(初診)	鈴木 光哉医長	松浦りつ子医長	鈴木 孝明医長	小林 文人医長	浦吉 俊輔医師
		2診(初診)	藤田 昌春医長	關 めぐみ医師	中前 範子医師	藤田 昌春医長	鈴木 光哉医長
		3診(再診)	松浦りつ子医長	藤田 昌春医長	西久保公映副院長	鈴木 孝明医長	中前 範子医師
		4診(再診)	小林 文人医長	浦吉 俊輔医師	松浦りつ子医長	鈴木 光哉医長	關 めぐみ医師
	午 後	3診(再診)		中前 範子医師	鈴木 光哉医長	西久保公映副院長	糖尿病専門外来(月1回)
		4診(再診)				藤田 昌春医長	
外 科	1 診	倉田 稔医師	須崎 真副院長	野口 孝院長	野口 孝院長	須崎 真副院長	
	2 診	安積 良紀医師	安積 良紀医師	安積 良紀医師	信岡 祐医師	信岡 祐医師	
整 形 外 科	1 診	田中 雅医長	倉田 竜也医師	田中 雅医長	田中 雅医長 倉田 竜也医師	倉田 竜也医師	
	2 診	倉田 竜也医師	田中 雅医長	倉田 竜也医師	奥山 典孝医師	田中 雅医長	
脳神経外科	1 診		仲尾 貢二医師	仲尾 貢二医師	仲尾 貢二医師	種村浩医師(午後)	
眼 科	1 診	山田 敦医長	山田 敦医長	山田 敦医長	山田 敦医長	山田 敦医長	
	2 診	八木 達哉医師	八木 達哉医師	八木 達哉医師	八木 達哉医師	八木 達哉医師	
産 婦 人 科	1 診	葛西 普一医長	葛西 普一医長	關 義長医師	葛西 普一医長	關 義長医師	
小 児 科	1 診	鈴木 幹啓医長	鈴木 幹啓医長	鈴木 幹啓医長	足立 基医師	鈴木 幹啓医長	
皮 膚 科	1 診				村上 貴章医師		
神 経 内 科	1 診					木田博隆医師(第1,3) 谷口 彰医師(第2) 成田有吾医師(第4) (第5)未定	
	2 診					柴田 益成医師	
泌 尿 器 科	1 診				今村哲也医師(午後)		
耳鼻咽喉科	1 診	松浦 徹医長	松浦 徹医長	松浦 徹医長	松浦 徹医長	松浦 徹医長	
歯科口腔外科	1 診	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	柳瀬 成章医長	
備 考	1. 受付時間は午前7時30分～午前11時30分までとなっております。ただし急患については時間外でも受付します。 なお当院を初めて受診される患者様及び、診察券をお持ちでない患者様の受付時間は、午前8時からとなります。						
	2. 神経内科の診療は原則として予約制となっています。						

新任先生に聞きました

産婦人科医長

かっさい しんいち

葛西 普一 先生 5月1日着任



●略歴

愛知医科大学を平成9年に卒業後、三重大学病院産婦人科に入局し、いくつかの病院を経て、このたび山本総合病院から紀南病院に赴任しました。

●趣味

釣りや映画。あまり行けていませんが。

●医師を志した理由

実家が産婦人科をしているので、その影響を受けて。

●医学部に入るには どのようなことが必要だと思いますか

まわりの理解と自分の努力。努力を続けること。

●抱負

患者さん一人ひとりに合わせた診療を心がけたいと思いますので、よろしくお願い致します。

整形外科医師

くらた たつや

倉田 竜也 先生 7月1日着任



●略歴

平成13年に三重大学卒業後、三重大学病院整形外科。13年9月から村瀬病院、16年4月から静岡市立静岡病院、17年4月から三重大学大学院、19年4月から6月まで三重大学病院整形外科。

●趣味

バスケットボール、ゴルフ、ドライブ

●医師を志した理由

患者さんとお話しのお付き合いができるから。

●医学部に入るには どのようなことが必要だと思いますか

いろいろなことに興味を持って、チャレンジしてみる姿勢が必要だと思います。

●抱負

紀南地区の医療に貢献できるように頑張ります。